

男女共同参画社会に関する市民意識調査

ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、男女がともにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会づくりに向けて、さまざまな取り組みを推進しているところです。

そのひとつとして、5年ごとにアンケート調査を実施し市民の皆様の意見を伺い、今後のまちづくりに生かすために実施いたします。

古賀市にお住まいの20歳以上の男女2,000人の方を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。お忙しいところまことに恐れ入りますが、ご協力をお願い致します。

平成 27 年 月

古賀市長 中村 隆象

調査票の記入にあたって



1. 答えは、封筒のあて名の方、本人のお考えでご記入ください。
2. 答えは、あてはまる番号を選んで○をつけてください。
また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
3. 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、平成 年 月 日 ()までに、ご返送ください。(切手は不要です。)
4. 答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、**回答された方にご迷惑をおかけするようなことはございません。**
5. **この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。**

(お問い合わせ先)

古賀市役所 総務課 男女共同参画係
電 話 (092) 942-1260
FAX (092) 942-3758

男女の地位についておたずねします

問 1 あなたは、次にあげる様々な分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)～(ク)のそれぞれについて、あてはまる番号に○を付けてください。(○印はそれぞれ1つ)

※各項目ごとに横に見てお答えください。 (○印はそれぞれ1つ)	男性の方が優遇 されている	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6	
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6	
(ウ) 社会活動の場で	1	2	3	4	5	6	
(エ) 余暇生活	1	2	3	4	5	6	
(オ) 法律や制度上	1	2	3	4	5	6	
(カ) 地域のしきたりや習慣	1	2	3	4	5	6	
(キ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6	
(ク) 国や政治の場	1	2	3	4	5	6	

家庭生活についておたずねします

問 2 あなたは、「男は仕事、女は家庭を守る」という考え方を、どう思いますか。
あてはまる番号に○を付けてください。(○印は1つ)

1. 賛成	3. どちらかといえば反対
2. どちらかといえば賛成	4. 反対

問 3 現在、配偶者（パートナー）と同居している方におたずねします。
あなたのご家庭では次にあげる項目を、あなたと配偶者（パートナー）のどちらが主にされていますか（されていきましたか）。
(ア)～(ク)のそれぞれについて、あてはまる番号に○を付けてください。
(○印はそれぞれ1つ)

※各項目ごとに横に見てお答えください。 (○印はそれぞれ1つ)	自分	パート	1 分 担	自 分 ・ パ ー ト ナ ー	家 族	そ の 他	し な い	該 当
(ア) 炊事	1	2	3	4	5			
(イ) 掃除・洗濯	1	2	3	4	5			
(ウ) 日々の家計の管理	1	2	3	4	5			
(エ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める	1	2	3	4	5			
(オ) 子どものしつけ・教育	1	2	3	4	5			
(カ) 子どもの教育方針や進学目標を決める	1	2	3	4	5			
(キ) 高齢者などの介護	1	2	3	4	5			
(ク) 自治会・町内会などの会合への参加	1	2	3	4	5			

問 4 あなたは、子どもの教育について、どのような考え方をお持ちですか。
 (ア)～(ウ)のそれぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。
 (○印はそれぞれ1つ)

※各項目ごとに横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つ) _____→	賛成	どちらか いえば賛成	どちらか いえば反対	反対	わからない
(ア) 女の子も男の子と同等に経済的に自立 できるよう職業人としての教育が必要だ	1	2	3	4	5
(イ) 男の子にも炊事・掃除・洗濯など、 生活に必要な技術を身につけさせる	1	2	3	4	5
(ウ) 男の子は理科系、女の子は文科系に すすんだほうがよい	1	2	3	4	5

問 5 あなたは、男性が育児休業・介護休業をとることについて、どのように考え
 ますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。
 (○印はそれぞれ1つ)

※各項目ごとに横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つ) _____→	とる 方がよい	どちらか とる方がよい いえば	どちらか とらない方がよい いえば	とらない 方がよい	わからない
(ア) 男性の育児休業 (*1)	1	2	3	4	5
(イ) 男性の介護休業 (休暇) (*2)	1	2	3	4	5

(*1) 育児休業・・・子を養育する労働者が法律に基づいて取得できる休業のこと

(*2) 介護休業・・・家族が病気や怪我、精神的な疾患などによって介護が必要な状態になった時
 介護を行なう労働者が、比較的長く取得できる休業のこと

問 6 男性の育児休業、介護休業の取得率は低い状況にあります。それはなぜだ
 と思いますか。(○印はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 職場の理解が得られない
2. 取得した場合、経済的に苦しくなる
3. 仕事の評価や昇進などに影響する
4. 男性より女性がとるべきである
5. 地域において男性が育児・介護に参加しにくい
6. 男性に育児・介護のスキル(経験や技術)が乏しい
7. 周囲に取得した男性がいない
8. 取得すると仕事上周囲の人に迷惑がかかる
9. その他 () |
|--|

職業についておたずねします

問 7 あなたは、現在職業を持っていますか。(○印は1つ)

1. 持っている → 副問1へ進む
2. 以前、職業を持っていたが、今は持っていない → 副問2へ進む
3. 今まで持ったことがない

副問1. 問7で、「1. 持っている」と答えた方におたずねします。
就業形態は次のどれに該当しますか。(○印は1つ)

1. 自営・会社経営・会社役員
2. 家族従業者
3. 正社員・正職員
4. 常勤パートタイマー
5. 契約社員・派遣社員
6. 臨時、アルバイト
7. 内職
8. その他(具体的に:)

副問2. 問7で、「2. 以前職業を持っていたが、今は持っていない」と答えた方におたずねします。
あなたが仕事を辞めた直接のきっかけは何でしたか。(○印は2つまで)

1. 労働条件が悪かったから
2. 自分の病気など、身体的・精神的理由から
3. 勤務先の都合のため(人員整理、経営上の都合等)
4. 定年になったため
5. 結婚やその準備のため
6. 出産や育児のため
7. 保育所や託児施設がなかったため
8. 家族の介護が十分にできないから
9. 家族の就職や転勤のため
10. 家族同意や協力が得られなかったため
11. 上司・同僚との人間関係がうまくいかなかったから
12. その他(具体的に:)

問 8 あなたは、女性が「職業」を持つことについてどのように思いますか。
(○印は1つ)

1. ずっと職業を持ち続ける方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
4. 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなって再び職業を持つ方がよい
5. 職業を持たない方がよい
6. わからない

問 9 あなたは、男女とも職業生活と家庭生活の調和のとれた生活をするためにはどのような条件整備が必要だと思いますか。(○印は2つまで)

1. 男性に家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする
2. 育児のための施設・サービスを拡充する
3. 育児休業制度を利用しやすくする
4. 介護のための施設・サービスを拡充する
5. 介護休業制度を利用しやすくする
6. 週休2日制や労働時間の短縮を進める
7. 在宅勤務など、仕事と家庭を両立できるようにする
8. 能力開発や技術習得のための講座・研修会を実施する
9. その他(具体的に:)
10. 特に条件整備は必要ない

社会活動への参加状況についてについておたずねします

問 10 あなたは地域社会において、今どのような活動に参加していますか。
(○印はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブなど
2. 趣味・教養・学習、スポーツ、健康づくりなどのサークル活動
3. PTA活動、青少年育成活動
4. 社会奉仕やボランティア活動(児童文庫、子育て、福祉、環境、国際交流・協力など)
5. その他(具体的に:)
6. いずれの活動にも参加していない → 副問1へ進む

副問1. 問10で、「6. いずれの活動にも参加していない」と答えた方におたずねします。あなたが、活動に参加していないのはどのような理由からですか。
(○印は3つまで)

- 1. 活動するための施設が近くにないから
- 2. 社会活動に関心がないから
- 3. 地域で興味や関心の持てる活動が行われていないから
- 5. 忙しくて時間がないから
- 6. 自分が高齢・病弱だから
- 7. 経済的に余裕がないから
- 8. 家族の理解や協力が得られないから
- 9. 一緒に参加する仲間がないから
- 10. 他人と一緒に活動するのがわずらわしいから
- 11. その他 (具体的に: _____)

問11 あなたは、次にあげるような役職に、女性がどの程度つくことが望ましいと思いますか。(ア)～(ク)のそれぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。(○印はそれぞれ1つ)

*各項目ごとに横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つ) →	古賀市の現状	男性よりも女性を多くする	男性とおなじくらいにする	男性を超えない範囲で増やす	今のままでよい	わからない
	H26. 4 現在 女性数/全人数					
(ア) 自治会長	3 /46	1	2	3	4	5
(イ) 市議会議員	6/19	1	2	3	4	5
(ウ) 農業委員	2/18	1	2	3	4	5
(エ) 教育委員	2/5	1	2	3	4	5
(オ) 小・中学校PTA会長	1 /11	1	2	3	4	5
(カ) 民生委員・児童委員	32/65	1	2	3	4	5
(キ) 選挙管理委員	0/4	1	2	3	4	5

- 問 1 2** 自治会長や区長、PTA会長などの地域の役職についておたずねします。
【女性の方に】あなたが推薦されたらどうしますか。
【男性の方に】配偶者などの身近な女性が推薦されたらどうしますか。
(○印は1つ)

1. 引き受ける (引き受けることをすすめる)
2. 断る (断ることをすすめる) → 副問 1 へ

副問 1. 問 1 2で、「2. 断る (断ることをすすめる)」と答えた方におたずねします。
その理由は何ですか。(○印は3つまで)

1. 家族の協力がえられないから
2. 女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから
3. 責任が重いから
4. 役職につく知識や経験がないから
5. 女性には向いてないから
6. 当人の職業生活に支障がでるから
7. 家事育児や介護に支障がでるから
8. 人間関係がわずらわしいから
9. こうした役職に興味がないから
10. その他 ()

- 問 1 3** あなたが住んでいる地域において、以下のようなことがありますか。
(○印はいくつでも)

1. 町内会や自治会の会長には男性を選ぶことが当然という雰囲気がある
2. 会議などで女性が意見を言いにくい、または意見が取り上げられにくい雰囲気がある
3. 会合でのお茶だしや準備・片付けなどは女性が担当することが多い
4. 男性が上座に、女性が下座に座る会合がある
5. 男女の役割に大きな差はない
6. 積極的に活動している女性グループや女性のリーダーがいる
7. 自治会役員 (隣組) は男性で登録しているが、会合には女性が行く
8. その他 (具体的に)
9. わからない

配偶者（パートナー）からの暴力についておたずねします

問14 あなたは、ここ3年くらいの間にあなたの配偶者や恋人関係、または恋人関係にあった人から次のようなことをされたことがありますか。

(ア)～(セ)のそれぞれについてあてはまる番号に○を付け以下の副問にお答えください。(○印はそれぞれ1つずつ)

		何度もあった	1・2度あった	全くない
身体的暴力	(ア) 足でけられたり、平手で打たれる	1	2	3
	(イ) 物をなげつけられる	1	2	3
	(ウ) 身体を傷つける可能性のあるものでなぐられる	1	2	3
	(エ) なぐるふりをされる、おどされる	1	2	3
性的暴力	(オ) 嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
	(カ) 見たくないのにアダルトサイトやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
精神的・経済的暴力	(キ) 何を言っても無視し続けられる	1	2	3
	(ク) 必要な生活費を渡してくれない	1	2	3
	(ケ) 交友関係や電話・メールなどをチェックされる	1	2	3
	(コ) 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」と言われる	1	2	3
	(サ) 子どもや他人の前で侮辱したり、ばかにされたりする	1	2	3
	(シ) 大声でどなられる	1	2	3

副問1 いずれかの項目で「1. 何度もあった」「2. 1・2度あった」とお答えされた方におたずねします。どこに相談しましたか。(○印はいくつでも)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 医療関係者（医師・看護師など）介護関係者（ケアマネージャー・ホームヘルパー）
4. 学校関係者（教員・養護教員・スクールカウンセラー）
5. 行政の相談窓口（そうだん5・かすや地区女性ホットライン・市役所窓口）
6. 民間の専門家や専門機関（弁護士・カウンセラー・NPO法人・民間シェルター）
7. 警察（110番、ミス・リリーフ・ライン（警察の犯罪被害者相談電話））
8. その他（ ）
9. 相談しなかった → 副問2へ

副問2 副問1で「9. 相談しなかった」に○をつけた方におたずねします。
どこにも相談しなかったのはなぜですか。(○印はいくつでも)

1. どこ(だれ)に相談すればよいかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 相談することによって、更に不快な思いをすと思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 子どもに危害がおよぶと思ったから
8. 世間体が悪いから
9. 他人を巻き込みたくなかったから
10. 自分にも悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどのことではないと思ったから
12. 相談する人がいない
- 13 その他 ()

問15 今後、男女がともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○印は3つまで)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 職場中心という社会全体の仕組みを改めること
3. 子育てや介護に関するサービスを充実する
4. 労働時間短縮や休暇制度(育児休業・介護休業等)を普及させること
5. 性別にかかわらず家事などができるようなしつけや育て方をすること
6. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合い、協力し合うこと
7. 女性が経済的に自立し、社会的責任を果たせるような能力を身につけること
8. 男性が生活面において自立できるような能力を身につけること
9. 職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること
10. さまざまな活動に夫婦が一緒に参加すること
11. その他(具体的に)
12. わからない

問16 あなたが、「男女がともにその個性と能力を発揮し、責任も分かち合う男女共同参画社会づくり」に向けて古賀市に期待することはどんなことですか（○印は3つまで）

1. 広報・啓発活動や学習機会の提供を充実する
2. 市の各種審議会の委員など、市の施策・方針を決定する場に女性の参画を増やす
3. 区長や地域自治会役員に女性を増やす
4. 学校教育や社会教育の中で、男女平等や男女共同参画についての学習を提供する
5. 働く場での男女格差をなくすよう事業者（企業主）等に対して働きかける
6. 育児休業や介護休業制度の普及啓発をすすめる
7. 男性も家事や育児、介護などを担うことができるような啓発活動を行なう
8. 男女共同参画を推進する市民グループの活動を支援する。
9. 女性の生涯にわたる健康づくりの支援策や母性保護対策を充実する
10. 女性の就業支援として、研修やセミナーを実施する
11. 性暴力や性差別などに関する問題解決に向けた相談窓口を充実する
12. 社会活動などのリーダーとなる女性を養成する
13. 子育て支援センター事業や地域での子育て支援事業を充実する
14. 男女共同参画センター設置など、男女共同参画の啓発・活動拠点づくりをすすめる
15. その他（具体的に： _____）
16. 特にない

◆古賀市の男女共同参画の社会づくりについて、ご意見やご要望などありましたら自由にお書きください。



裏面へつづく

最後に、あなたご自身のことについておたずねします

F 1 あなたの性別は (○印は1つ)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢は (平成27年8月1日現在) (○印は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

F 3 あなたのご家族は、次のように分類した場合、どれに当てはまりますか。
(○印は1つ)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の2世代世帯
4. 親、子、孫の3世代世帯 5. その他 (具体的に:)

F 4 あなたの配偶関係は、次のどれに当てはまりますか。 (○印は1つ)

1. 結婚している (事実婚を含む) 2. 配偶者と離婚、死別した 3. 結婚したことがない
- 副問1へ進む

副問1 F 4で「1」又は「2」と答えられた方におたずねします。

あなたの世帯は「共働き」ですか (「共働き」でしたか)。 (○印は1つ)

1. はい 2. いいえ 3. その他 (具体的に:)

F 5 あなたのお住いの校区 (小学校区) はどこですか。 (○印は1つ)

※お住いの小学校区がわからない方は、校区一覧表をご参照ください。

1. 小野校区 2. 青柳校区 3. 古賀東校区 4. 古賀西校区
5. 花鶴校区 6. 千鳥校区 7. 花見校区 8. 舞の里の里校区

校区一覧表

校区名	行政区
小野校区	薦野区 米多比区 小山田区 谷山区 薬王寺区 筵内区(鶴,峠)
青柳校区	新原区 今在家区 青柳区 小竹区 町川原1区 町川原2区
古賀東校区	筵内区(除く鶴,峠) 庄北区 庄南区 久保区 久保西区 中央区 古賀団地区
古賀西校区	鹿部区(除く1組,8組,10組,11組) 古賀南区 古賀北区 日吉台区 中川区
花鶴校区	古賀東区 花鶴丘1丁目区 花鶴丘2丁目区 花鶴丘2丁目2区 花鶴丘2丁目3区 花鶴丘3丁目区 鹿部区(1組,8組,10組,11組)
千鳥校区	病院区 千鳥東区 千鳥南区 千鳥北区 さや団地区 高田区 千鳥タウンコート区 東浜山団地区
花見校区	花見南区 北花見区 花見東1区 花見東2区
舞の里校区	舞の里1区 舞の里2区 舞の里3区 舞の里4区 舞の里5区

これですべての質問は終わりました。

もう一度、記入もれがないかご確認のうえ、返信用封筒に入れて

____月 ____日()までに投函してください。(切手不要)

この調査票及び返信用封筒に住所、氏名を書く必要はありません。

ご協力ありがとうございました。

